



えがお



第17号

平成31年1月25日発行

- 発行／一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団
- 住所／〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1-18
- 電話／078-743-8200
- FAX／078-743-8211
- ホームページ／<http://www.kzc.jp/>

～限りなく 人にやさしい「保健」と「医療」と「福祉」を～

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団は、神戸市医師会、こうべ市民福祉振興協会、神戸市の三者が設立しました。医療・看護・介護・リハビリまでトータルにサポートするほか、地域包括ケアシステムの構築をめざし、在宅医療と介護の連携を推進しています。

第29回こうべ福祉・健康フェアに参加しました

10月7日(日)、しあわせの村において開催された第29回こうべ福祉・健康フェアに参加しました。

財団は兵庫県看護協会と協力して、血圧測定、体組成測定、血管年齢測定、フレイルセルフチェック及び測定結果の説明と健康相談・栄養相談を行いました。当日は前年を上回る239人の市民の方が来場され、大変盛況のうちに無事

終了いたしました。

健康チェックを受けられた方からは、「結果が良くて安心した」「健康に気を付けようと思った」「来年も来たい」と喜んでいただきました。職員も、市民のみなさんの健康増進や介護予防に一役をかうことができ、さわやかな秋風を感じた素敵な一日になりました。



認知症講演会を開催しました

10月18日(木)、神戸市医師会館において「認知症講演会」を開催しました。北理事長を座長として、財団から「神戸市の認知症初期集中支援事業」について発表を行った後、国立長寿医療研究センター 鳥羽研二理事長から「認知症と在宅医療」をテーマにご講演いただきました。

講演は、在宅医療に必要な認知症ケア知識、認知症患者

の居場所、地域包括ケアとの関連、病期から見た認知症医療・ケアなどについて様々な資料を基に詳しい説明がありました。医師、看護師、ケアマネジャーなど医療・介護従事者を中心に約180人の参加があり、参加者からは、「わかりやすく大変有意義であった」「今後の業務に活かしていきたい」などご好評をいただきました。



市民フレイルサポーターによるフレイルチェックの取組みについて

財団では、神戸市から委託を受けてフレイル予防事業を実施しています。これは、市民フレイルサポーターを養成し、市民同士でフレイルチェックや啓発を行うことで、気づきや自分事化(当事者意識をもつこと)し、意識変容・行動変容を促し、フレイル予防に取り組むことによって、健康寿命の延伸を目指すものです。

プログラムは、東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授が研究、開発された、フレイルチェックやフレイルサポーター養成プログラムを活用しています。

10月には、30名の市民フレイルサポーターを養成し、11月には21名、12月は14名の市民の方にフレイルチェックを

実施しました。チェックを受けられた市民の方は、明日からの健康づくりに取り組む意欲を語っておられました。

今後も、財団のフレイルトレーナー(セラピスト)、市民フレイルサポーターを中心に、健康寿命の延伸に向けて取り組んでいきます。



※写真の皆さんには、「指輪っかテスト」をイメージして撮影してもらいました。

※「指輪っかテスト」は、両手の親指と人さし指で輪っかをつくり、ふくらはぎの最も太い部分を囲む。「囲めない」「ちょうど囲める」「隙間ができる」順のフレイルの可能性が高まります。

神戸リハビリテーション病院

回復期リハビリテーション専門病院として、一人でも多くの患者さんが自立し、住み慣れた地域や自宅に帰って心豊かな生活が送れるよう、医師・看護師・セラピスト・介護職・医療ソーシャルワーカー等のチーム医療により、在宅復帰を目指しています。



インフルエンザ流行期を前に ～院内感染対策の取組みについて～

当院では、職員の感染対策への意識向上を目的に院内感染勉強会を定期的に開催しています。10月開催時は、インフルエンザの流行期を前に、マニュアルの見直しや標準予防策の強化徹底(手洗いうがい・擦過式消毒薬の携帯、使用・職員のマスク着用)、アウトブレイク(限られた範囲における感染の流行)を起こさないようにするには、について勉強会を行いました。

当院のアウトブレイク発令基準

- ① 院内の各病棟で入院患者が1週間以内に5人以上新規発症した場合
- ② 各病棟の医療従事者が5日以内に原則として3名以上新規発症した場合
- ③ 入院患者と医療従事者が同時期に発症した場合にICTリーダーが判断する

また、「面会制限のお願い」ということで、面会時にはマスク装着、手指消毒、18歳未満の方や、せきや発熱等の症状のある方の面会をご遠慮いただいております。

マメな手洗いや咳エチケットで「かからない」「うつさない」を心掛けていきます。



介護老人保健施設 リハ・神戸

心身両面で生活機能が低下し、自立生活が困難になった高齢者等の方に対して、医師・看護師・セラピスト・介護職・管理栄養士・支援相談員・ケアマネジャー等がチームとなり、相互に協力・連携を図りつつ、利用者さんに応じた適切なリハビリテーション訓練や日常生活機能等の維持・向上のための支援を行っています。入所・ショートステイ(短期間の入所)・デイケア(通所リハビリ)の利用形態があり、これらのサービスの提供を通して、利用者さんの在宅復帰・在宅療養生活を支援します。

30年度前半の取組みの一部をご紹介します。

「夏祭り!」大いに盛り上がりました



「春のお花見」、「幼稚園児の交流訪問」



♡老健のお食事って? — リハ・神戸の食事として、大切にしていること —

老健のお食事は、治療が中心の病院とは異なる視点で、「食べること」が生活の中で大きな楽しみのひとつと考え、献立を立てています。

日本の食卓では、二十四節気や雑節の際には、行事食を味わう習慣があるため、献立にはそれを織り込みお食事の季節感を大切にしています。さらに「日本全国駅弁巡り」や「世界の食と遺産を訪ねて」等の年間テーマを決めてイベント食もお出ししています。



また、利用者の方に安全に食べていただけるようにリハビリテーションのスタッフと連携を密にして、食事形態についても工夫しています。できるだけ皆様に同じ内容のお食事をお届けしたいと考え、例えば、にぎり寿司の提供時には、普段お粥を召し上がっている方のために、別途ゼラチンを使ってお粥を固めたやわらかしゃり玉を作り、ネタをのせています。

さらに「選ぶ楽しみ」を持っていただくため、利用者さん自らおやつを選ぶ「スイーツセレクション」や療養棟に調理師が出向いて食堂でお寿司を作る「お寿司バイキング」も行っています。



今後は、リハビリテーションと栄養との関係も意識して、在宅生活・在宅復帰を支援する施設の食事として、皆様が利用される限られた期間の中で、一食一食を丁寧に作る努力をこれからも続けていきたいと思っています。

訪問看護・えがいの窓口・あんしんすこやかセンター

ご家庭で寝たきりの方や看護・リハビリテーションが必要な方を対象に、看護師やセラピストが定期的に訪問し、予防看護も含めた各種サービスを行っています。高齢者や介護の必要な方が身近にある医療・保健・福祉サービスを受けられるよう、各種相談に応じる「あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)」、介護保険上の各種サービスが受けられるよう、利用者の依頼に基づき諸手続き、相談に応じる「えがいの窓口(居宅介護支援事業)」を運営しています。

毎年開催している虐待対応力向上研修を、今年度は①マネージメントを行う職員(ケアマネジャー等)と②サービスを提供する職員(看護師等)に分けて実施しました。

9月22日(土)はマネージメントを行う職員を対象に、神戸女子大学 健康福祉部 眞野典子先生を講師としてお迎えし、虐待や不適切なケアの発生を予防するために職員の質の向上を目的として、在宅現場における高齢者虐待の対応について事例検討を行い、45名が参加しました。研修は8つのグループにメンバーを分け、精神疾患のある家族・なんとなく気になる家族とのかかわり方、虐待事例ケースの情報分析と統合について注意している事柄についてポイント絞り込み検討しました。最後には各グループから発表後、講師からコメントをいただきました。

11月24日(土)はサービスを提供する職員を対象に、兵庫医療大学 看護学部 堀口和子先生を講師としてお迎えし、虐待や不適切なケアの発生を予防するために在宅の現場で、「家族看護」についてご講演いただき、115名が参加しました。研修は講義形式をとり、家族の理解をするための

技法として、ジェノグラム(家系図)やエコマップ(家族の外的構造の相互作用の量と質を評価する時に用いる)の描き方の説明を受け、最後には事例により、家族員・家族・家族と社会のアセスメント(査定・評価・判断)を行いました。

財団では、職種にあわせてきめ細やかな研修を行い、職員のスキルアップや質の向上に努めています。



◀兵庫医療大学 看護学部
堀口和子先生によるご講演

講義会場風景▼



●お知らせ●

老人健康センターは、平成8年の開設以来、22年余にわたり運営を続けてまいりましたが、平成30年12月をもちまして閉所させていただきます。

これまでに賜りました皆様のご芳情に心より感謝申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

神戸リハビリテーション病院	☎078-743-8200
介護老人保健施設 リハ・神戸	☎078-743-8500
しあわせの村在宅支援センター	☎078-743-8512
しあわせの村あんしんすこやかセンター	☎078-743-8208
しあわせ訪問看護ステーション	☎078-242-5454
東灘しあわせ訪問看護ステーションくるる	☎078-452-6772
東灘ケアプランセンター(ほくらくるる)	☎078-452-6960
魚崎南部あんしんすこやかセンター	☎078-452-6830
兵庫しあわせ訪問看護ステーション	☎078-515-5252
兵庫しあわせケアプランセンター	☎078-577-1448
新開地あんしんすこやかセンター	☎078-577-1445
西部しあわせ訪問看護ステーション	☎078-787-7201
認知症初期集中支援事業(こうべオレンジチーム)	☎078-242-5461

